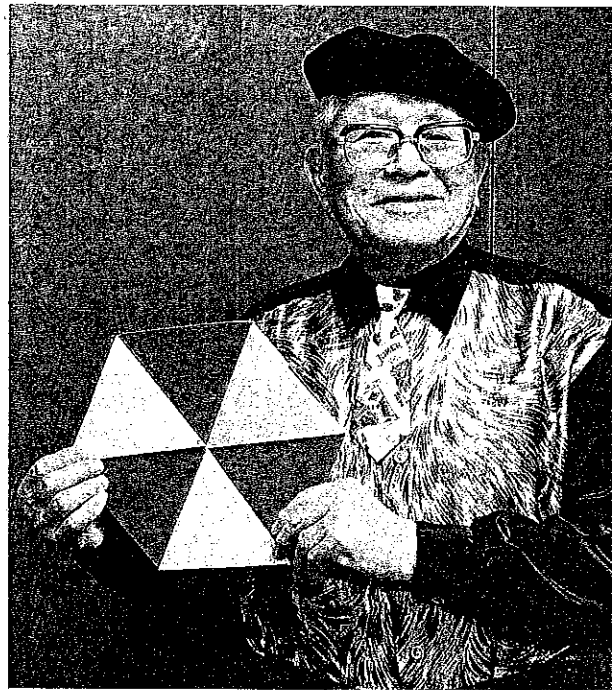


卒寿の手工品 鮮やかに

福岡市西区のアマチュアマジシャン、小野進さん(89)芸名・天進齋乱万(てんしんさいらんまん)が90歳の誕生日を迎える6日、福岡市中央区渡辺通の天神テールで自慢のマジックを披露する。節目の舞台は、自身も会員になっているNPO法人「博多笑い塾」が開く、卒寿を祝う会。「おそらく九州で最高齢の現役マジシャン」(同法人)は流れるような手つきで手工品を繰り出しながら笑う。「90歳からは新たなスタート。長生きは儲けもんと思って楽しんでやっちゃ」



鮮やかな手つきで手工品を披露する小野進さん。「祝いのマジック」で六角形をくるくる回すと、紅白模様は早変わり

「博多笑い塾」小野さん6日、祝う会

ハンカチやひもを使った簡単な手工品、7人きょうだいの次男。田市に、40代の頃、中洲で見たスナックのママのハンカチ芸に感心した。難聴の影響もあって歌などは苦手。「人前でできる特技があればいいな」と考え、50代後半から本などを参考に独学で練習を始めた。60代後半でマジックを学ぶクラブに入会し、70歳で初舞台を経験した。

2004年に入会した「博多笑い塾」の男性会員では最年長。自身が管理するマジック教室の一室で月2回のマジック教室を開くほか、大牟田市にも月1回の講座に出向く。毎日の練習も欠かさない。芸名通りの天真らんまんさで飾らず、自然に見る人を楽しませる。

「長寿の秘けつは簡単。死なないことです。面白いでしょう? 目指すは『百歳健康マジシャン』」

「卒寿を祝う会」は午前11時開会。「博多笑い塾」メンバーによる漫談や踊りなど「笑い芸」の披露もある。参加費は5千円(食事代込み)。定員80人で要申し込み。予約は5日まで、電話で受け付ける。博多笑い塾事務局 092(714)1880。(豊島和子)

「再出発 楽しくやらにゃ」

1926年、現在の大分県日田市に、7人きょうだいの次男として生まれた。15歳で就職後、難聴になり、わずかに聞こえる右耳に補聴器をつける。マジックに興味を持ったのは、あればいいな」と考え、50代後半から本などを参考に独学で練習を始めた。60代後半でマジックを学ぶクラブに入会し、70歳で初舞台を経験した。

2004年に入会した「博多笑い塾」の男性会員では最年長。自身が管理するマジック教室の一室で月2回のマジック教室を開くほか、大牟田市にも月1回の講座に出向く。毎日の練習も欠かさない。芸名通りの天真らんまんさで飾らず、自然に見る人を楽しませる。

「長寿の秘けつは簡単。死なないことです。面白いでしょう? 目指すは『百歳健康マジシャン』」

「卒寿を祝う会」は午前11時開会。「博多笑い塾」メンバーによる漫談や踊りなど「笑い芸」の披露もある。参加費は5千円(食事代込み)。定員80人で要申し込み。予約は5日まで、電話で受け付ける。博多笑い塾事務局 092(714)1880。(豊島和子)